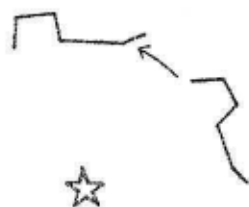


富山湾への知識

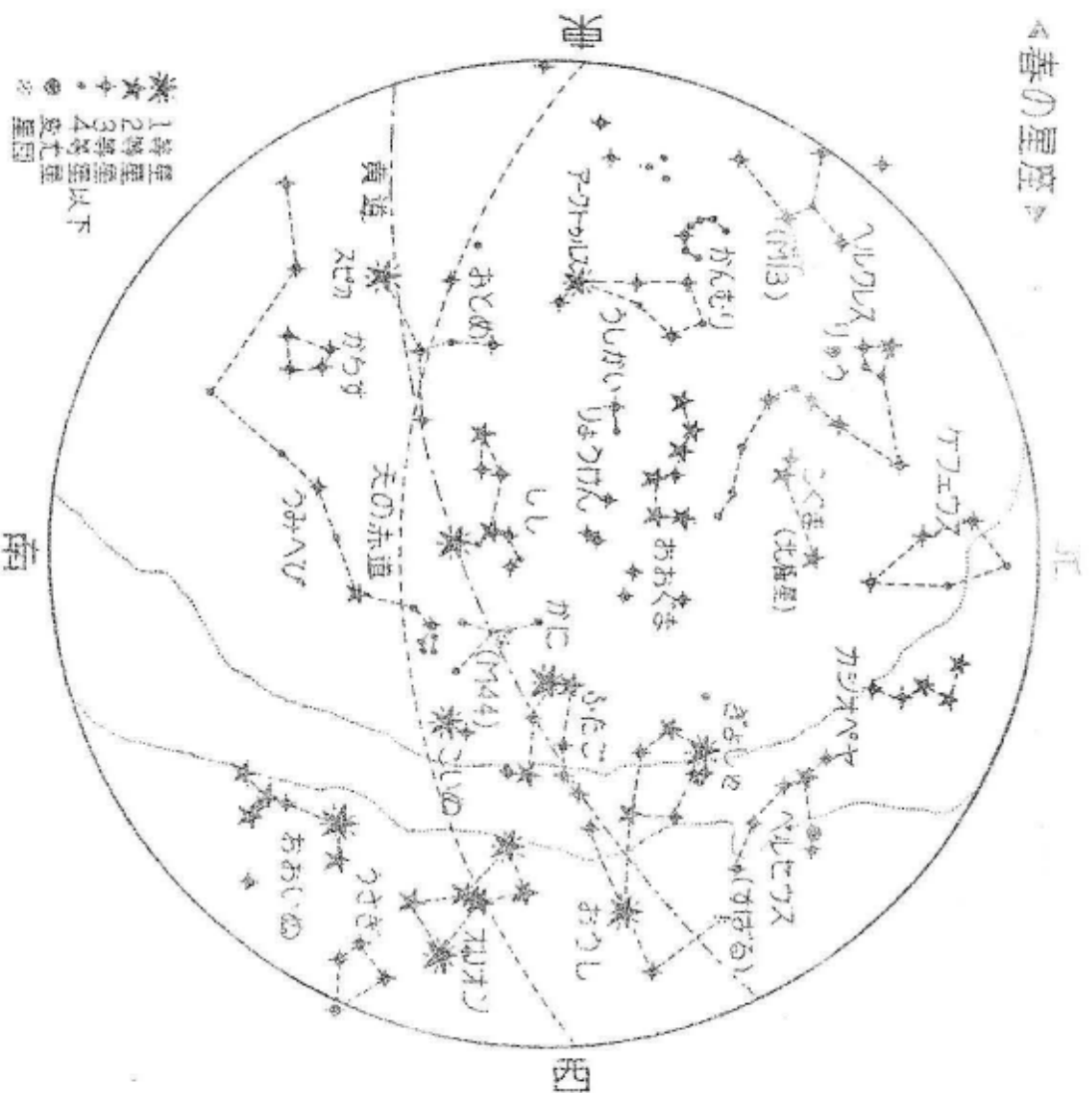
今回のプラネタリウムは「富山湾」をとりあげてみました。富山湾は岸から20kmいくと、深さが1000mにもなるところがあり、急に深くなっています。このように急に深くなっている湾は日本では富山湾の他には駿河湾と相模湾だけです。また、「^{かいてい}海底谷」と呼ばれる谷のような地形があります。この地形は昔、本当の川がつくった谷が海面が上がったために海の中につもれたものだとか、海底で地すべりが起こった後に浸食されてできたものなどといわれています。漁師さんはこの谷を「ふけ」、「あいがめ」などと呼び、「ふけぎわに網をしかけると魚がよくとれる」と言っていました。

ところで富山湾で忘れてならないのは、昔の漁師さんが星に独自の名前をつけていたことです。例えば、おおぐま座の北斗七星を舟の^か楫にみたてて、「カジボシ」、北極星は「ネノホシ」、「アインホシ」と呼んでいました。また、昔の漁師さんは北斗七星が北極星のまわりを約1日で1周することを利用して、時計のかわりに使っていました。ただし、普通の時計は12時間で一周しますが、星の時計は24時間で一周するのです。(M.W)



カジボシとネノホシの動き

◀春の星座▶



▶富山県に伝わる星の名前▶



富山市科学文化センター

富山市西中野町3丁目1番19号 (〒930-11)

電話 富山(0764) 91-2123(代達)